伊藤超短波株式会社

埼玉県川口市

生産性向上　需要獲得　担い手確保

ものづくり　サービス

ポイント 卓越した技術と変化を恐れぬ精神で、次の100年に向けた新たな価値を創造する物理療法機器のパイオニア

○確かな製品と長年のサポート実績で、スポーツコンディショニングという新たな需要を喚起
○40年に及ぶグローバル展開の実績と高い品質で、世界100ヵ国以上で認められるブランドを構築
○最先端の情報と研究開発の成果に独自のノウハウを融合させ、製品開発にフィードバック

企業基本情報

所在地	埼玉県川口市栄町3-1-8
電話/FAX	048-254-1011/048-254-1033
URL	http://www.itolator.co.jp/
代表者	代表取締役社長 倉橋　司
設立	1916年
資本金	9,950万円
従業員数	340人

会社概要

1916年創業。創業者・伊藤賢治が物理療法を独自に研究し、日本初の超短波治療器を開発して以来、多くの物理療法機器を開発。EBM（Evidence-based medicine：根拠に基づく医療）を確立し、高い信頼性と技術力を融合した治療器は、医療やスポーツ領域における専門治療にも幅広く用いられている。また家庭用機器の分野でも一般の方々が安心して使える効果的な製品を提供。海外展開も積極的に行い、「ITO」ブランドは海外でも知名度を上げている。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

確かな製品と長年のサポート実績で新たな需要を喚起

「物理療法機器はリハビリに使用するもの」という意識が定着していた中、日本では馴染みの薄かったスポーツ領域への活用を推進。アスリートのサポートを通じてコンディショニングにおける物理療法の有用性を広めてきた。

以来20年にわたり、数々の世界大会において治療やコンディショニングのサポートを展開。現在ではその活動がスポーツ業界全体に広く認知され、20を超える競技連盟などから公認サプライヤーの指定を受けている。

大会中のコンディショニングサポートにも貢献

40年に及ぶグローバル展開の実績と高い品質

業界でもいち早く海外市場に着目し、1977年に貿易業務を本格化させる。以後、世界最大の国際医療機器展「MEDICA」をはじめ、毎年多くの展示会に出展。1990年代にはアジア市場の拡大を見越して中国とベトナムに現地事務所を開設するなど、取引国のニーズを的確に捉えた展開を行い、現在では100ヵ国以上の国々へ医療機器の輸出を行っている。2016年にはベトナムに工場を設立し、さらなる海外展開の推進とより良い「モノづくり」のための基盤づくりにも取り組んでいる。

世界最大の医療機器展に毎年自社ブースを出展

研究開発の成果に独自の技術を融合させ製品にフィードバック

医療分野の世界的潮流であるEBM（根拠に基づく医療）の確立を第一に考え、EBM発想の先進国である欧米の情報を積極的に収集。国内外の大学や研究機関との共同研究なども精力的に進め、それらの成果を製品開発にフィードバックしている。

また、長年にわたり機器の小型化にも注力。その独自のノウハウから生まれる“小型・高機能・高性能”な製品は、既存のリハビリ領域に留まらず、スポーツや訪問介護など新たな市場の開拓にも活かされている。

設計を行うCADフロア